

令和8年度 第1学年入学 学生募集要項

推薦選抜

出願書類受付期間 令和7年12月17日(水)～12月19日(金)
検 査 日 令和8年 1月10日(土)
合 格 発 表 令和8年 1月16日(金)

学力選抜

出願書類受付期間 令和8年 1月19日(月)～ 1月22日(木)
検 査 日 令和8年 2月 8日(日)
合 格 発 表 令和8年 2月13日(金)

帰国生徒特別選抜

出願書類受付期間 令和8年 1月 7日(水)～ 1月22日(木)
検 査 日 令和8年 2月 8日(日)
合 格 発 表 令和8年 2月13日(金)

推薦選抜(追試験)

検 査 日 令和8年 1月27日(火)
合 格 発 表 令和8年 1月30日(金)

学力選抜(追試験)

検 査 日 令和8年 2月15日(日)
合 格 発 表 令和8年 2月20日(金)

帰国生徒特別選抜(追試験)

検 査 日 令和8年 2月15日(日)
合 格 発 表 令和8年 2月20日(金)



独立行政法人国立高等専門学校機構

長岡工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Nagaoka College

〒940-8532

新潟県長岡市西片貝町888番地

長岡工業高等専門学校 学生課 教務入試係

Tel : 0258-34-9434

Fax : 0258-34-9339

E-mail : kyoumu@nagaoka-ct.ac.jp

ホームページ : <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

本校の教育理念と学習・教育到達目標

本校では、以下の表に示す教育理念と学習・教育到達目標を掲げて、教育活動を行っています。受験に当たっては、ここに示す内容を十分にご理解ください。

教育理念「人類の未来をきりひろく、感性ゆたかで実践力のある創造的技術者の育成」

☒ 教育目標 ☐ 学習・教育到達目標

準学士課程の教育目標と学習・教育到達目標
(A) 人類の福祉と地球環境に配慮できる人間性と倫理観を持った技術者の育成
(a1) 人文・社会科学に関する基礎知識を学習し理解すること。
(a2) 工業技術と社会、自然環境の係わりについて学習し理解すること。
(a3) 技術者として備えるべき社会的倫理を学習し理解すること。
(B) すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもち、多様な価値観を理解できる技術者の育成
(b1) 日本文化についての知識を身につけるとともに多様な国際文化を理解すること。
(b2) 日本語による卒業研究や実験実習の報告書の作成及び発表・討論ができること。
(b3) 多様な国際文化を理解し、英語による基本的コミュニケーション能力を身につけること。
(C) 早期技術者教育の特長を生かし、科学と技術の基礎を身につけた、健全で創造性ゆたかな技術者の育成
(c1) 工学の基礎となる数学・物理学・その他の自然科学の内容に関する基本的な問題が解けること。
(c2) 工学の基礎知識が実際の技術分野でどのように関わっているかについて学習し理解すること。
(D) 工学の専門知識とものづくりのスキルをかね備え、情報技術を駆使できる技術者の育成
(d1) 専門工学の基礎事項について学習し、基本的な問題が解けること。
(d2) 専門分野の問題解決に必要な装置やソフトウェアなどの工学的ツールについて学習し理解すること。
(d3) 実験実習を通してものづくりの基礎知識と技能を身につけること。
(d4) 実験報告書作成を通して、情報技術の習得及び情報検索能力を身につけること。
(E) 多面的思考力と計画力をもち、課題の解決と技術の開発を実行できる技術者の育成
(e1) 特定の専門科目だけでなく境界分野科目についても学習し理解すること。
(e2) 与えられた課題に対して、解決するために必要な事柄に対する知識と解決手法を身につけること。
(F) 地域の産業と社会に連携し、時代の要請に応えられる実践力のある技術者の育成
(f1) 企業等での実習体験を通して、技術者としての心構えや必要とされる技術的知識を理解すること。
(f2) 体験報告書を通して、社会に役立つ技術者として備えるべき能力について考察できること。
(G) 自発的学習能力を身につけ、継続的に自己啓発のできる技術者の育成
(g1) 工学的課題について、必要な情報や資料等を自発的に収集する能力を身につけること。
(g2) 与えられた技術的課題の解決を通して、さらに幅広い技術的知識を得る能力を身につけること。

長岡工業高等専門学校のアドミッションポリシー

長岡工業高等専門学校は、「人類の未来をきりひらく、感性ゆたかで実践力のある創造的技術者」の育成を目指しています。そのため、本校では以下の資質や考えを持つ志願者を求めます。

1. 求める学生像

- (1) 「理科、数学」が好きで、社会の発展につながる科学技術を学びたいと考えている人
- (2) 工作や「技術・家庭」が好きで、工学分野の専門知識を学び、ものづくりスキル、実践力を身に付けたいと考えている人
- (3) 多様な人々と協働できるコミュニケーション能力、問題発見・解決能力を身につけ、創造力を発揮したいと考えている人
- (4) 未来に目標を定めて主体的に学ぶ意欲があり、地域や世界で活躍したいと考えている人

2. 入学者選抜の基本方針

「求める学生像」に沿った適性を有する人材を選抜するため、次のような方針で入学者選抜を行います。

- (1) 推薦選抜（推薦書、調査書及び面接結果の総合評価）
- (2) 学力選抜（調査書及び学力検査（筆記）結果の総合評価）
- (3) 帰国生徒特別選抜（調査書、学力検査（筆記）結果及び面接結果の総合評価）

目 次

I	募集人員	1
II	選抜方法	1
II-A	推薦選抜	1
II-B	学力選抜	4
II-C	帰国生徒特別選抜	7
II-D	不正行為について	11
II-E	追試験	12
III	「学力検査による選抜」における最寄り地等受験制度について	13
IV	自立応援入学支援金	14
V	入学手続等について	15
VI	注意事項	17
VII	出願から入学手続までの流れ（推薦・学力）	20
VIII	技術者教育プログラム	21
IX	個人情報の取扱いについて	21
X	令和8年度入学者選抜を受験した者の学力検査成績の開示について	21
XI	調査書作成要領	22

【参 考】

長岡工業高等専門学校	位置及び交通案内	巻末
------------	----------	----

I 募集人員

学 科	入学定員	募 集 人 員		
		推薦選抜	学力選抜	帰国生徒特別選抜
機械工学科	40名	20名	20名	若干名
電気電子システム工学科	40名	20名	20名	若干名
電子制御工学科	40名	20名	20名	若干名
物質工学科	40名	20名	20名	若干名
環境都市工学科	40名	20名	20名	若干名
合 計	200名	100名	100名	

II 選抜方法

入学者の選抜は、「推薦選抜」、「学力選抜」及び「帰国生徒特別選抜」で行います。

II-A 推薦選抜

1. 出願資格

「推薦選抜」に出願できるのは、令和8年3月に中学校、義務教育学校を卒業見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了見込み若しくは「文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程」（学校教育法施行規則第95条第2号）を修了見込みの者で、次の①から③までの要件を満たしていて、在籍学校長の推薦を得た者に限ります。

- ① 人物が優れており、かつ本校に入学する意志が明確な者
(合格したときは必ず入学し、「推薦選抜」で合格とならなかったときは、必ず、「学力選抜」又は「帰国生徒特別選抜」を受験する意志がある者)
- ② 志望学科に対して明確な目的意識、適性、興味・関心及び学習意欲を持っている者
- ③ 「理科」「数学」「英語」の2年・3年の成績が5段階絶対評価で3教科合計24以上になる者

2. 推薦人員

1学校当たりの推薦人数に、制限はありません。

3. 出願手続

本校ホームページからWEB出願システムにアクセスしてWEB出願エントリーを行い、検定料(16,500円)及び手数料等を納付の上、(1)の期間中に(2)の出願に必要な全ての書類が本校に提出されたことをもって出願完了となります。WEB出願エントリーを行っただけでは、出願とはなりませんので、注意してください。WEB出願エントリーは、令和7年12月3日(水)から受付を開始します。

なお、令和7年度推薦選抜実施日(令和7年1月11日(土))から、令和8年度推薦選抜実施日の前日(令和8年1月9日(金))までの間において、次の①から②までのいずれかに該当する入学志願者は、検定料が免除されます。申請方法等については、学生課教務入試係(連絡先は、表紙に記載)に問い合わせてください。

- ① 本人又は学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)の居住地が災

- 害による被災に伴い災害救助法の適用を受け居住する家屋が半壊以上（床上浸水を含む。）の被害を受けた場合
- ② 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災し、死亡（行方不明を含む。）した場合

(1) 出願書類受付期間

令和7年12月17日(水)～令和7年12月19日(金) 17時00分必着

出願書類は、郵送でのみ受付します。受付期間内に到着するように、出願書類を簡易書留郵便で郵送してください。

※ 持参による出願書類の受付は、廃止しました。

(2) 出願書類

入学志願者及び在籍学校長は、次の表により出願書類を作成してください。在籍学校の担当者は、WEB出願システムから出力される宛名票を貼り付けた個々の封筒（角型2号）に各志願者の出願書類を入れ、全志願者分を一括して、簡易書留郵便で郵送してください。なお、出願書類を入れる封筒は、入学志願者が用意してください。

[出願書類一覧]

出願書類	摘 要
① 写 真 票	WEB出願システムにより作成された写真票を印刷し、提出してください。利用する写真は、無背景、上半身脱帽正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものとします。カラー・モノクロの別は問いません。 写真をWEB出願システムにアップロードしない場合は、写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。
② 調 査 書	本校所定様式により、在籍学校長が「XI 調査書作成要領」（22～23ページ）に従って作成してください。
③ 推 薦 書	本校所定様式により、在籍学校長が作成してください。

調査書及び推薦書は、本校ホームページから様式をダウンロードし、A4縦置きで印刷したものを使用してください。

- (3) 推薦選抜の入学志願者で、合格とならなかった場合に帰国生徒特別選抜を受験する者は、9ページの出願書類一覧の②、③及び④を併せて提出してください。

(4) 成績一覧表

在籍学校長は、各都道府県が定める「令和8年度公立高等学校入学者選抜要項」により成績一覧表を作成する場合には、入学志願者の合否にかかわらず令和8年2月24日(火)までに送付してください。

(5) 出願書類送付先及び募集に関する問合せ先

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888番地
長岡工業高等専門学校 学生課 教務入試係
Tel：0258-34-9434 Fax：0258-34-9339

4. 出願手続に関する留意事項

- (1) 「推薦選抜」では、第1志望学科について選抜を行います。

ただし、合格とならなかった者は「学力選抜」又は「帰国生徒特別選抜」を受験することになりますので、その場合を考慮して、「学力選抜」の入学志願者は、WEB出願エントリー時に「第2志望」「第3志望」の学科も選択してください。「第2志望」「第3志望」の学科がないときは、必ず「志望なし」を選択してください。WEB出願エントリー後は、志望学科の変更を認めません。

- (2) 出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、現住所に変更が生じた場合は、速やかに学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）に申し出てください。
- (3) WEB出願エントリーで入力した内容や提出した出願書類に事実と異なる記載があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

5. 選抜方法

(1) 選抜方法

選抜は、以下の3つの項目を総合的に審査して行います。

- ① 推薦書の内容
- ② 調査書の内容
- ③ 本校が課す「面接」の結果

1人10分程度の個人面接を実施します。

(2) 面接日

- ① 日 時：令和8年1月10日(土) 13時00分から
- ② 検査場：長岡工業高等専門学校（長岡市西片貝町888番地）
- ③ 時間割

受験者控室入室	12:20～12:40
面 接	13:00～

なお、受験を取りやめる場合は、必ず学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）へ連絡してください。

6. 選抜結果の発表及び通知

- (1) 日 時：令和8年1月16日(金) 10時00分

- (2) 方 法：選抜結果は、次の方法で発表及び通知します。

- ① 本校4号館玄関前掲示板に合格者の「受験番号」を学科別に掲示
- ② 本校ホームページに合格者の「受験番号」を学科別に掲載

合格発表ホームページ <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/nyushi/>

(合格発表ホームページ)



(注1) 発表時刻になりますとアクセスが集中し、表示されるまで時間がかかる場合があります。その際は、時間をおいてから再度アクセスしてください。

- ③ 選抜結果を本人宛に文書で通知（令和8年1月16日(金)10時00分以降に郵送）

(注2) 選抜結果は、文書による通知書が正式なものとしますので、必ず通知書で確認してください。

電話等による問合せには、一切応じません。

なお、原則として在籍学校長宛に、受験番号、氏名、合否結果及び合格学科名を文書により通知することとしていますが、この通知に同意しない場合は、WEB出願エントリー時に「同意しない」を選択してください。

7. 入学確約書

合格者には、合格通知書と併せて入学確約書の用紙を送付しますので、必要事項を記入の上、令和8年1月30日(金)17時00分(必着)までに郵送等で提出してください。期限までに入学確約書を提出しない合格者は、本校に入学の意思がないもの(入学辞退)として取り扱います。

なお、入学確約書を提出した後に入学意思を変更することはできませんので、慎重に意思決定してください。

入学確約書を提出した合格者には、2月下旬頃に入学手続に関する資料を送付します。

8. 「推薦選抜」で合格とならなかった場合

「推薦選抜」で合格とならなかった入学志願者は、「学力選抜」又は「帰国生徒特別選抜」を受験してください。

(1) 検 査 日：令和8年2月8日(日)

(2) 出願手続：WE B 出願システムへのエントリー及び出願書類の提出は、必要ありません。

検定料も不要です。

(3) 詳 細：「Ⅱ－B 学力選抜」又は「Ⅱ－C 帰国生徒特別選抜」をお読みください。

Ⅱ－B 学力選抜

1. 出願資格

学力選抜に出願できるのは、次のいずれかに該当する者です。

- (1) 中学校、義務教育学校又はこれに準ずる学校を卒業した者（令和8年3月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者（令和8年3月修了見込みの者を含む。）
- (3) 「学校教育法施行規則第95条」によって、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2. 出願手続

本校ホームページからWE B 出願システムにアクセスしてWE B 出願エントリーを行い、検定料(16,500円)及び手数料等を納付の上、(1)の期間中に(2)の出願に必要な全ての書類が本校に提出されたことをもって出願完了となります。WE B 出願エントリーを行っただけでは、出願とはなりませんので、注意してください。WE B 出願エントリーは、令和7年12月3日(水)から受付を開始します。

なお、令和7年度学力選抜実施日（令和7年2月9日(日)）から、令和8年度学力選抜実施日の前日（令和8年2月7日(土)）までの間において、次の①から②までのいずれかに該当する入学志願者は、検定料が免除されます。申請方法等については、学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）に問い合わせてください。

- ① 本人又は学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）の居住地が災害による被災に伴い災害救助法の適用を受け居住する家屋が半壊以上（床上浸水を含む。）の被害を受けた場合
 - ② 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災し、死亡（行方不明を含む。）した場合
- (1) 出願書類受付期間

令和8年1月19日(月)～令和8年1月22日(木) 17時00分必着

出願書類は、郵送でのみ受付します。受付期間内に到着するように、出願書類を簡易書留郵便で郵送してください。

※ 持参による出願書類の受付は、廃止しました。

(2) 出願書類

入学志願者及び在籍又は出身学校長は、次の表により出願書類を作成してください。在籍又は出身学校の担当者は、WEB出願システムから出力される宛名票を貼り付けた個々の封筒(角型2号)に各志願者の出願書類を入れ、全志願者分を一括して、簡易書留郵便で郵送してください。なお、出願書類を入れる封筒は、入学志願者が用意してください。

[出願書類一覧]

出願書類	摘 要
① 写 真 票	WEB出願システムにより作成された写真票を印刷し、提出してください。利用する写真は、無背景、上半身脱帽正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものとします。カラー・モノクロの別は問いません。 写真をWEB出願システムにアップロードしない場合は、写真(縦4cm×横3cm)を貼付してください。
② 調 査 書	本校所定様式により、在籍又は出身学校長が「XI 調査書作成要領」(22～23ページ)に従って作成してください。

調査書は、本校ホームページから様式をダウンロードし、A4縦置きで印刷したものを使用してください。

(3) 成績一覧表

在籍学校長は、各都道府県が定める「令和8年度公立高等学校入学者選抜要項」により成績一覧表を作成する場合には、入学志願者の合否にかかわらず令和8年2月24日(火)までに送付してください。

なお、令和7年3月以前に中学校を卒業した入学志願者については成績一覧表の提出は必要ありません。

(4) 出願書類送付先及び募集に関する問合せ先

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888番地

長岡工業高等専門学校 学生課 教務入試係

Tel : 0258-34-9434 Fax : 0258-34-9339

3. 出願手続に関する留意事項

(1) 志望学科

本校の5つの学科(機械工学科・電気電子システム工学科・電子制御工学科・物質工学科・環境都市工学科)の中から、「第1志望」から「第3志望」までの学科をWEB出願エントリー時に選択してください。「第2志望」「第3志望」の学科がないときは、必ず「志望なし」を選択してください。WEB出願エントリー後は、志望学科の変更を認めません。

(2) 出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、現住所に変更が生じた場合は、速やかに学生課教務入試係(連絡先は、表紙に記載)に申し出てください。

(3) WEB出願エントリーで入力した内容や提出した出願書類に事実と異なる記載があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。

4. 選抜方法

(1) 選抜は、以下の2つの項目を総合的に審査して行います。

① 調査書の内容

② 学力検査の成績

学力検査は、理科、英語、数学、国語、社会の5科目（各科目100点満点）を課します。

* 調査書と学力検査の配分は下表のとおりです。

調 査 書	学 力 検 査
400点	800点 ※ 理科、英語、数学は200点満点に換算します。

(2) 学力検査

① 日 時：令和8年2月8日(日) 9時30分～15時30分

② 検 査 場：長岡工業高等専門学校（長岡市西片貝町888番地）

③ 検査科目：理科、英語、数学、国語、社会

マークシート用紙による解答方式です。

④ 学力検査中に使用できるもの

受験票のほかに検査時間中、机の上に置いて使用できるものは、次のとおりです。

ア. 黒鉛筆（HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。）、鉛筆キャップ

イ. プラスチック製の消しゴム

ウ. 鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）

エ. 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音がするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）

オ. 眼鏡、目薬

⑤ 学力検査中に使用できないもの

検査時間中、次のものは使用できません。

ア. 定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具

イ. 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレイヤー等の電子機器類

⑥ 許可を受けた場合に使用できるもの

受験者が学力検査開始前に申し出をし、検査監督者が許可した場合、次のものは使用できます。

・座布団、膝掛け、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）

⑦ 時間割

検 査 等		時 間
検査室入室		8:40～ 9:00
1	理 科	9:30～10:20
2	英 語	10:40～11:30
3	数 学	11:50～12:40
4	国 語	13:30～14:20
5	社 会	14:40～15:30

※ 受験者は本校が課す検査科目の全てを受験しなければなりません。検査科目のうち1

つでも受験しなかった場合は欠席扱いとなり、選抜の対象外となります。

昼食は、持参してください。

なお、受験を取りやめる場合は、必ず学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）へ連絡してください。

⑧ 検査科目の出題範囲

検査科目は「中学校学習指導要領（平成29年3月文部科学省告示）」に基づいた出題範囲とします。

5. 選抜結果の発表及び通知

(1) 日 時：令和8年2月13日(金) 10時00分

(2) 方 法：選抜結果は、次の方法で発表及び通知します。

① 本校4号館玄関前掲示板に合格者の「受験番号」を学科別に掲示

② 本校ホームページに合格者の「受験番号」を学科別に掲載

合格発表ホームページ <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/nyushi/>

(合格発表ホームページ)



(注1) 発表時刻になりますとアクセスが集中し、表示されるまで時間がかかる場合があります。その際は、時間をおいてから再度アクセスしてください。

③ 選抜結果を本人宛に文書で通知（令和8年2月13日(金)10時00分以降に郵送）

(注2) 選抜結果は、文書による通知書が正式なものとなりますので、必ず通知書で確認してください。

電話等による問合せには、一切応じません。

なお、原則として在籍又は出身学校長宛に、受験番号、氏名、合否結果及び合格学科名を文書により通知することとしていますが、この通知に同意しない場合は、WEB出願エントリー時に「同意しない」を選択してください。

6. 入学確約書

合格者には、合格通知書と併せて入学確約書の用紙を送付しますので、必要事項を記入の上、令和8年2月26日(木)17時00分（必着）までに郵送等で提出してください。期限までに入学確約書を提出しない合格者は、本校に入学の意思がないもの（入学辞退）として取り扱います。

なお、入学確約書を提出した後に入学意思を変更することはできませんので、慎重に意思決定してください。

7. 欠員が生じた場合

欠員が生じた場合は、令和8年2月27日(金)以降に追加合格を行います。その際、追加合格者への連絡はWEB出願エントリー時に登録した連絡先に電話等で行います。

令和8年2月27日(金)以降に追加合格の有無を本校のホームページに掲載します。

ホームページ <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

Ⅱ－C 帰国生徒特別選抜

1. 出願資格及び出願要件

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務に伴って外国において教育を受けた者（海外在住期間が中学校に相当する課程において通算して2年以上の者で、令和6年4月以降の帰国者）で、次のいずれかに該当する者とする。

ア、中学校、義務教育学校又はこれに準ずる学校を卒業した者（令和8年3月卒業見込みの者を含む。）

イ、外国において学校教育における9年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を卒業（修了）した者（令和8年3月卒業見込み（修了見込み）の者を含む。）

ウ、「文部科学大臣が中学校課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設※の当該課程」（学校教育法施行規則第95条第2号）を卒業（修了）した者（令和8年3月卒業見込み（修了見込み）の者を含む。）

※ 在外教育施設とは、海外に在留する日本人の子供のために、学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する学校における教育に準じた教育を実施することを主たる目的として海外に設置された教育施設です。

入学を志願する者は、出願資格等を確認しますので、必ず令和7年12月19日(金)までに本校学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）に電話・電子メール・郵便等により照会してください。

2. 出願手続

本校ホームページからWEB出願システムにアクセスして出願手続を行い、検定料（16,500円）及び手数料等を納付の上、(1)の期間中に(2)の出願に必要な全ての書類が本校に提出されたことをもって出願完了となります。WEB出願エントリーを行っただけでは、出願とはなりませんので、注意してください。WEB出願エントリーは、令和7年12月3日(水)から受付を開始します。

なお、令和7年度帰国生徒特別選抜実施日（令和7年2月9日(日)）から、令和8年度帰国生徒特別選抜実施日の前日（令和8年2月7日(土)）までの間において、次の①から②までのいずれかに該当する入学志願者は、検定料が免除されます。申請方法等については、学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）に問い合わせてください。

- ① 本人又は学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）の居住地が災害による被災に伴い災害救助法の適用を受け居住する家屋が半壊以上（床上浸水を含む。）の被害を受けた場合
- ② 学資負担者が災害救助法の適用を受けた地域で被災し、死亡（行方不明を含む。）した場合

(1) 出願書類受付期間

令和8年1月7日(水)～令和8年1月22日(木) 17時00分必着

入学志願者は、WEB出願システムから出力される宛名票を貼り付けた角型2号封筒に出願書類を入れ、簡易書留郵便で郵送してください。出願書類を入れる角型2号封筒は、入学志願者が用意してください。ただし、海外在住で海外から出願する入学志願者は、EMS（国際スピード郵便）等の追跡が可能な方法で、受付期間内に到着するように発送してください。

(2) 出願書類

次の表に示した書類を提出してください。

[出願書類一覧]

出願書類	摘 要
① 写 真 票	W E B 出願システムにより作成された写真票を印刷し、提出してください。利用する写真は、無背景、上半身脱帽正面向きで、出願前 3 か月以内に撮影したものとします。カラー・モノクロの別は問いません。 写真を W E B 出願システムにアップロードしない場合は、写真（縦 4 cm×横 3 cm）を貼付してください。
② 調 査 書 (成績証明書)	日本人学校及び国内の中学校の成績等は、本校所定様式により、在籍又は出身学校長が、「XI 調査書作成要領」（22～23ページ）に従って作成してください。 なお、成績証明書で提出する場合の各教科の評定は、100点法に換算したものを記載してください。不可能な場合は、100点法との対応表を添付してください。 また、前記「1. 出願資格及び出願要件」のイ. に該当する者（海外の現地校及び国際学校を卒業した者及び卒業見込の者）は、当該学校が発行した卒業（修了）証明書又は同見込証明書を提出してください。
③ 海外在住状況 説明書	本校所定様式に、必要事項を記入してください。
④ 住 民 票	外国籍を有する者のみ提出してください。 (永住者の在留資格がわかるもの)

調査書及び海外在住状況説明書は、本校ホームページから様式をダウンロードし、A 4 縦置きで印刷したものを使用してください。

(3) 出願書類送付先及び募集に関する問合せ先

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888番地

長岡工業高等専門学校 学生課 教務入試係

Tel : 0258-34-9434 Fax : 0258-34-9339

3. 出願手続に関する留意事項

- (1) 志望学科は、本校の 5 つの学科（機械工学科・電気電子システム工学科・電子制御工学科・物質工学科・環境都市工学科）の中から、1 つの学科を W E B 出願エントリー時に選択してください。W E B 出願エントリー後は、志望学科の変更を認めません。
- (2) 出願書類に不備のあるものは受理できません。また、出願書類提出後は、記載事項の変更は認めません。ただし、現住所に変更が生じた場合は、速やかに学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）に申し出てください。
- (3) W E B 出願エントリーで入力した内容や提出した出願書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (4) 外国の学校又は機関が作成した書類（成績証明書を除く。）については、必ず日本語訳を添付してください。
- (5) 帰国生徒特別選抜に出願を希望する場合でも、「推薦選抜」に出願することができます。（「推薦選抜」の出願資格を満たしている必要があります。）

4. 選抜方法

(1) 選抜方法

選抜は、以下の3つの項目を総合的に審査して行います。

- ① 調査書等の内容
- ② 学力検査の成績
- ③ 本校が課す「面接」の結果

学力検査は、理科、英語、数学、国語の4科目（各科目100点満点）を課します。

* 調査書等と学力検査・面接の配分は下表のとおりです。

調 査 書 等	学 力 検 査	面 接
200点	400点 ※理科、英語、数学を200点満点に換算し、4科目合計点(700点満点)を、400点満点に換算します。	100点

(2) 学力検査及び面接

- ① 日 時：令和8年2月8日(日) 9時30分～
- ② 検 査 場：長岡工業高等専門学校（長岡市西片貝町888番地）
- ③ 検査科目：理科、英語、数学、国語

マークシート用紙による解答方式です。

④ 学力検査中に使用できるもの

受験票のほかに検査時間中、机の上に置いて使用できるものは、次のとおりです。

- ア. 黒鉛筆（HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。）、鉛筆キャップ
- イ. プラスチック製の消しゴム
- ウ. 鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
- エ. 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音がするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）
- オ. 眼鏡、目薬

⑤ 学力検査中に使用できないもの

検査時間中、次のものは使用できません。

- ア. 定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
- イ. 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレイヤー等の電子機器類

⑥ 許可を受けた場合に使用できるもの

受験者が学力検査開始前に申し出をし、検査監督者が許可した場合、次のものは使用できます。

- ・座布団、膝掛け、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）

⑦ 面接：1人20分程度の個人面接を実施します。

⑧ 時間割

検 査 等		時 間
検査室入室		8:40～ 9:00
1	理 科	9:30～10:20
2	英 語	10:40～11:30
3	数 学	11:50～12:40
4	国 語	13:30～14:20
5	面 接	14:40～

※受験者は本校が課す検査科目及び面接の全てを受験しなければなりません。検査科目及び面接のうち1つでも受験しなかった場合は欠席扱いとなり、選抜の対象外となります。昼食は、持参してください。

なお、受験を取りやめる場合は、必ず学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）へ連絡してください。

⑨ 検査科目の出題範囲

検査科目は「中学校学習指導要領（平成29年3月文部科学省告示）」に基づいた出題範囲とします。

5. 選抜結果の発表及び通知

(1) 日 時：令和8年2月13日(金) 10時00分

(2) 方 法：選抜結果は、次の方法で発表及び通知します。

① 本校4号館玄関前掲示板に合格者の「受験番号」を学科別に掲示

② 本校ホームページに合格者の「受験番号」を学科別に掲載

合格発表ホームページ <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/nyushi/>

(合格発表ホームページ)

(注1) 発表時刻になりますとアクセスが集中し、表示されるまで時間がかかる場合があります。その際は、時間をおいてから再度アクセスしてください。

③ 選抜結果を本人宛に文書で通知（令和8年2月13日(金)10時00分以降に郵送）

(注2) 選抜結果は、文書による通知書が正式なものとなりますので、必ず通知書で確認してください。

電話等による問合せには、一切応じません。

なお、原則として在籍又は出身学校長宛に、受験番号、氏名、合否結果及び合格学科名を文書により通知することとしています。この通知に同意しない場合は、WEB出願エントリー時に「同意しない」を選択してください。

6. 入学確約書

合格者には、合格通知書と併せて入学確約書の用紙を送付しますので、必要事項を記入の上、令和8年2月26日(木)17時00分（必着）までに郵送等で提出してください。期限までに入学確約書を提出しない合格者は、本校に入学の意思がないもの（入学辞退）として取り扱います。

なお、入学確約書を提出した後に入学意思を変更することはできませんので、慎重に意思決定してください。

Ⅱ-D 不正行為について

1. 次のことをすると不正行為となります。

- (1) 受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を使用することや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
 - (2) カンニング（試験の教科に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
 - (3) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - (4) 配付された問題冊子を、その検査時間が終了する前に検査室から持ち出すこと。
 - (5) 解答用紙を検査室から持ち出すこと。
 - (6) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - (7) 検査時間中に、次の補助具や電子機器類を使用すること。
 - ① 定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
 - ② 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレイヤー等の電子機器類
※イヤホンについては、耳に装着していれば、使用しているものとみなします。ただし、事前に受験上の配慮として許可している者は除きます。
 - (8) 「解答やめ。筆記用具を置いて、両手を膝の上に置いてください。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けること。
 - (9) 面接前に面接が終了した他の受験者から面接に関する情報を得ること、及び面接後にこれから面接を受ける他の受験者へ面接に関する情報を与えること。
 - (10) 面接中（受験者控室等での待機中を含む。）に他の人と連絡を取り合うこと。
2. 上記1以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。
- (1) 検査時間中に、上記1の(7)に挙げる補助具や電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をカバン等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
 - (2) 検査時間中に、携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、検査の進行に影響を与えること。
 - (3) 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。
 - (4) 検査場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - (5) 検査場において検査監督者等の指示に従わないこと。
 - (6) 面接において受験者控室又は面接室前で無用な会話をすること。
 - (7) その他、検査の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

Ⅱ－E 追試験

推薦選抜、学力選抜及び帰国生徒特別選抜の入学志願者が、インフルエンザウイルスや新型コロナウイルス等の感染症等を理由として、各選抜の検査（以下「本試験」という。）を受験できなかった場合の対応として、該当者を対象に「追試験」を実施します。追試験受験者の合否判定は、本試験受験者の合否判定とは別に行います。

なお、以下の1から4までに示す追試験の選抜方法等に記載のない事項については、「Ⅱ－A 推薦選抜」、「Ⅱ－B 学力選抜」及び「Ⅱ－C 帰国生徒特別選抜」に記載のとおり実施します。

1. 追試験対象者

- (1) 追試験の対象者は、次のとおりとします。

- ① 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号。以下「施行規則」という。）第十八条に定める感染症に罹患又は罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者
- ② その他、受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず、追試験の受験を申請した者で、校長がその申請を認めた者
- (2) 前記(1)の①に示す本試験を受験できない期間については、施行規則第十九条に定める「出席停止の期間の基準」を原則とします。
- (3) 前記(1)の①に示す本試験を受験できない事由は、中学校等の長による証明等により、校長が確認します。
- (4) 前記(1)の②に示す受験者自身の責めに帰することができない理由については、月経随伴症状等の体調不良を含むものとします。

2. 追試験実施日

- (1) 推薦選抜 日 時：令和8年1月27日(火) 10時30分～
検査場：長岡工業高等専門学校（長岡市西片貝町888番地）
- (2) 学力選抜 日 時：令和8年2月15日(日) 9時30分～15時30分
検査場：長岡工業高等専門学校（長岡市西片貝町888番地）
- (3) 帰国生徒特別選抜 日 時：令和8年2月15日(日) 9時30分～15時00分頃
検査場：長岡工業高等専門学校（長岡市西片貝町888番地）

3. 追試験選抜結果の発表及び通知

- (1) 日 時
 - ① 推薦選抜：令和8年1月30日(金) 10時00分
 - ② 学力選抜：令和8年2月20日(金) 10時00分
 - ③ 帰国生徒特別選抜：令和8年2月20日(金) 10時00分
- (2) 方 法：選抜結果は、次の方法で発表及び通知します。
 - ① 本校4号館玄関前掲示板に合格者の「受験番号」を学科別に掲示
 - ② 本校ホームページに合格者の「受験番号」を学科別に掲載
合格発表ホームページ <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/nyushi/>
(注1) 発表時刻になりますとアクセスが集中し、表示されるまで時間がかかる場合があります。その際は、時間をおいてから再度アクセスしてください。
 - ③ 選抜結果を本人宛に文書で通知（上記(1)のそれぞれの選抜における日時以降に郵送）
(注2) 選抜結果は、文書による通知書が正式なものとなりますので、必ず通知書で確認してください。



(合格発表ホームページ)

4. 留意事項

- (1) 追試験対象者に該当する場合は、本校学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）まで連絡してください。追試験の詳細は、対象者に別途通知します。
- (2) 追試験の合格者には、合格通知書と併せて入学確約書の用紙を送付しますので、必要事項を記入の上、本校が指定する期日までに郵送等（必着）で提出してください。
- (3) 学力選抜及び帰国生徒特別選抜の追試験では、昼食を持参してください。

Ⅲ 「学力検査による選抜」における最寄り地等受験制度について

国立高等専門学校機構では、「学力検査による選抜（推薦選抜が合格とならなかった場合に学力選

抜を受験する志願者を含む。)」において、出願する高専に関係なく、全国にある51の国立高等専門学校とその他設置している会場のどこでも受験が可能な『最寄り地等受験制度』を導入しています。

本校の「学力選抜」では、入学志願者は、本校を受験会場とする以外に、機構ホームページの『入学者選抜学力検査会場一覧』から、受験したい会場を希望することができます。

ただし、会場の収容人数等の都合で必ずしも希望に添えないこともありますので、最寄り地等受験制度を希望する入学志願者は、本校まで、必ず事前の相談をお願いします（本校を受験会場とする場合は、事前相談は不要です。）。

【問合せ先】

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888番地

長岡工業高等専門学校 学生課 教務入試係

Tel : 0258-34-9434 Fax : 0258-34-9339

E-mail : kyoumu@nagaoka-ct.ac.jp

相談期間：令和7年11月4日(火)～令和8年1月16日(金)

相談方法：電子メールによる問合せとします。詳細は、本校ホームページに掲載します。

最寄り地等受験制度 会場一覧掲載先（機構ホームページ）

各会場の受入状況を随時更新します。

<https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/moyori.html>



機構ホームページ

※ 「推薦選抜」及び「帰国生徒特別選抜」は、本制度の対象外です。

※ 事前相談期間締切後については、やむを得ない場合を除き原則受け付けません。

※ 本制度により本校以外の会場で受験が可となった入学志願者が「Ⅱ－E 追試験」に記載の追試験対象者となった場合も、本校ではなく、本制度の会場での受験となります。

Ⅳ 自立応援入学支援金

自立応援入学支援金（以下「支援金」という。）は、ジー・オー・ピー(株)による寄附金を財源に、強固な意志をもって、地元や親元を遠く離れ、高専生活を通じ、見知らぬ土地で新たな知見を得ようと夢や期待を膨らませている皆さんが、経済的理由により長岡高専に通うことを諦めることのないように入学期料相当額を給付し、応援する制度です。

1. 申請資格

申請資格は、次の(1)から(3)までの全てに該当する入学志願者となります。

- (1) 令和6年度又は令和7年度に、中学校又はそれと同等の教育機関を卒業した者（令和8年3月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 入寮を希望する者（入寮を約束するものではありません。）
- (3) 次に掲げる条件のいずれか一つ以上を満たす者
 - ① 本校から日本国内における自宅又は親戚宅等（以下「自宅」という。）までの最も合理的な経路が、公共交通機関を利用して3時間以上を要する者
 - ② 本校から自宅までの最も合理的な経路が、新幹線又は航空機を利用する必要がある者
 - ③ 保護者が海外在住であり、かつ、保護者以外の親戚等が国内に全くいない者
 - ④ その他、校長が①から③までに準じると認めた者（④で申請を行う場合には、事前に本校までご相談ください。）

2. 給付額

一人当たり84,600円（返還を要しない給付型奨学金です。）

3. 給付人数

3名（変更となる場合があります。）

4. 申請方法

本校ホームページに用意する申請フォームにより申請してください。なお、申請フォームには、作文の入力欄を設けていますので、テーマに沿った作文を入力する必要があります。

5. 決定方法

申請及び作文の内容を確認し、給付するに足りると本校が認定した入学者のうち、入学者選抜の成績順に決定します。

6. その他

支援金の詳細については、本校ホームページに掲載します。

ホームページ <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

V 入学手続等について

1. 入学手続

(1) 日時・場所

令和8年3月4日(水)10時00分～12時00分、13時30分～15時30分

長岡工業高等専門学校（長岡市西片貝町888番地）

(2) 内 容

合格者は、入学手続（入学料の納付等）を行い、入学許可書の交付を受けてください。なお、当日、合格者本人が入学手続を行わないときは、入学の意志がないものとして取り扱います。ただし、特別な事由により合格者本人が入学手続できないときは、事前に学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）に相談してください。

※ 入学手続に関する詳細をまとめた「入学手続要項」を2月下旬に郵送します。なお、学力選抜及び帰国生徒特別選抜の合格者には、合格通知書と併せて「入学手続要項」を郵送します。

2. 納入経費

(1) 入学料 84,600円

（ひとたび支払われた入学料は、いかなる事情があっても返還しません。）

(2) 授業料 年額234,600円（第1学年～第3学年で在籍期間36ヶ月以下の学生は、世帯収入に応じて「高等学校等就学支援金」の対象となり、授業料が減額されます。）

① 前期分117,300円、後期分117,300円に分けて納入していただきます。

② 前期分授業料は、入学後、指定口座からの引き落としとなります。（期日未定）

③ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

3. 入学料免除制度等

(1) 入学料免除

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡した場合又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合など特別な事情により納付が著しく困難な場合、本人の申請に基づき選考の上、入学料の全額又は半額が免除されます。

(2) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する場合に本人の申請に基づき選考の上、入学料の納付期限を延長します。

- ① 経済的理由により所定の期日までに納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- ② 入学1年前以内において、学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、所定の期日までに納付が困難であると認められる場合

(3) 高等学校等就学支援金

家庭の状況にかかわらず、全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、国の費用により、生徒の授業料に充てる高等学校等就学支援金を支給し、家庭の教育費負担を軽減するものです。

詳しくは、入学後送付する申請書類等をご覧ください。

(4) 修学支援法（高等教育の修学支援新制度）による授業料減免

令和2年4月から新たに修学支援新制度が始まりました。この制度は、第4学年以上（大学の学部生相当）を対象に授業料の免除又は減額（授業料等減免）、給付型奨学金の支給の2つの支援により、高等教育機関（第4学年、第5学年、専攻科）で安心して学んでいただくためのものです。後述の給付型奨学金を申請し、採用されることで、授業料減免を受けることができます。

なお、令和7年度からは、多子世帯（扶養する子供の数が3人以上）への支援が拡充され、第4学年以上を対象に、給付型奨学金を申請し、一定の基準を満たすことにより、授業料が全額免除されます。

(5) 国立高等専門学校機構における授業料免除

主たる学資負担者が死亡や風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が困難な場合、当該事由の発生した日の属する期又は翌期に納付すべき授業料の全額又は半額が免除されることがあります。

(6) 授業料徴収猶予及び月割分納

特別な事情により授業料が期日までに納入できない場合又は一括納入できない理由がある場合には、申請により選考の上、徴収の猶予又は月額分納が認められる場合があります。

(7) 申請の時期

- ① 入学料免除及び入学料徴収猶予

入学時

- ② 授業料免除、授業料徴収猶予及び月額分納

前期分、後期分それぞれ申請する必要があります。

説明会や申請手続については、学生連絡用掲示板等で案内しますので、希望者は見落としのないように注意してください。

制度の詳細については、学生課に問い合わせてください。

(8) 奨学金

日本学生支援機構の奨学金の他、地方公共団体、民間育英団体の奨学金があります。詳しくは学生課に問い合わせてください。

- ① 日本学生支援機構貸与奨学金

ア. 貸与型

日本学生支援機構の第一種奨学生（無利子）は、学業優秀で、かつ経済的に学資の支弁が困難で奨学金を希望する学生の中から、選考の上、推薦します。日本学生支援機構で審査の

上、奨学生として採用されます。

なお、第二種奨学生（有利子）は、第一種奨学生より緩やかな基準となっており、第4学年以上が対象となります。

- ・ 日本学生支援機構の第一種奨学金（無利子）

1～3年生

貸与月額 自宅通学 10,000円、21,000円

自宅外通学 10,000円、22,500円

〔4年生以上は20,000円から最高45,000円（自宅）又は51,000円（自宅外）まで選択できるようになります。〕

- ・ 日本学生支援機構の第二種奨学金（有利子）

貸与月額 20,000円～120,000円（10,000円単位で金額を選択できます。）

イ. 給付型

日本学生支援機構の給付型奨学金制度は、原則として返還義務のない奨学金を支給するもので、第4学年以上の奨学金を希望する住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯であり、学修意欲を有する学生の中から、選考の上、推薦します。日本学生支援機構で審査の上、奨学生として採用されます。

② その他の奨学団体

日本学生支援機構のほかに敦井奨学会、新潟県高校奨学生、ユニオンツール育英奨学会等があります。

4. 入学年度に必要な経費（予定額）

費 目	金 額	備 考
後援会費	41,000円	前期は5月に33,000円、後期は10月に8,000円を口座引落。前期分は入会金（20,000円：入学時のみ）を含む。
同窓会費	15,000円	入学時のみ納入、5月に口座引落
学生会費	10,000円	5月に口座引落
日本スポーツ振興センター 災害共済給付掛金	1,550円	5月に口座引落
TOEIC Bridge受験料	1,870円	5月に口座引落
PROGテスト受験料	2,420円	5月に口座引落
教科書・教材費・体操着等	約70,000円	入学手続の際に、業者から直接購入
学生証アプリ利用料	2,640円	5月に口座引落
合 計	約144,480円	

VI 注意事項

1. 出願

- (1) WEB出願システムを利用する環境がない場合や、出願に必要な書類を印刷する環境がない場合は、在籍又は出身学校に相談してください。対応が難しい場合は、推薦選抜に関しては令和7年12月10日(水)までに、学力選抜に関しては令和8年1月9日(金)までに、帰国生徒特別選抜に関しては令和8年1月7日(水)までに学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）に相談してください。

- (2) WEB出願エントリーの際は、志願者本人のみでなく、必ず保護者や中学校等が内容を確認してください。
- (3) 受理した出願書類は、返しません。
- (4) 振込済の検定料は、次の場合を除き返還しません。
- ① WEB出願エントリーにて検定料を払い込んだが出願しなかった(受理されなかった)場合
 - ② 二重に払い込んだ場合
- (5) 推薦書、調査書及び海外在住状況説明書の様式については、本校ホームページに掲載しますので、それを利用して作成してください。

ホームページ <https://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

2. 受験者心得

受験票に「受験者心得」が記載してあります。受験の前によく読んでおいてください。

3. 駐車場

検査場では、駐車場の確保が困難です。当日は、できるだけバスなどの公共交通機関を利用してください。

4. 上履き

上履きは必要ありません。

5. 宿泊施設

受験のための宿泊施設の提供やあっせんは行いませんので、必要な人は各自確保してください。

6. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

本校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」にのっとり、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上又は修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課教務入試係（連絡先は、表紙に記載）までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、出願書類提出期限の1か月前に当たる次の期日を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

- (1) 推薦選抜：令和7年11月19日(水)
- (2) 学力選抜：令和7年12月22日(月)
- (3) 帰国生徒特別選抜：令和7年12月22日(月)

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び在籍又は出身学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問合せ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている①障害者手帳の種別・等級・区分認定、②適切な医学的診断基準に基づいた診断書、③標準化された心理検査等の結果、④専門家の所見、⑤中学校、特別支援学校中等部等の支援状況に関する資料、⑥本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※ 根拠資料に関しては提出の要不要に関しても学生課教務入試係までご相談ください。ご提出

いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示した上で再提出を求めることがあります。

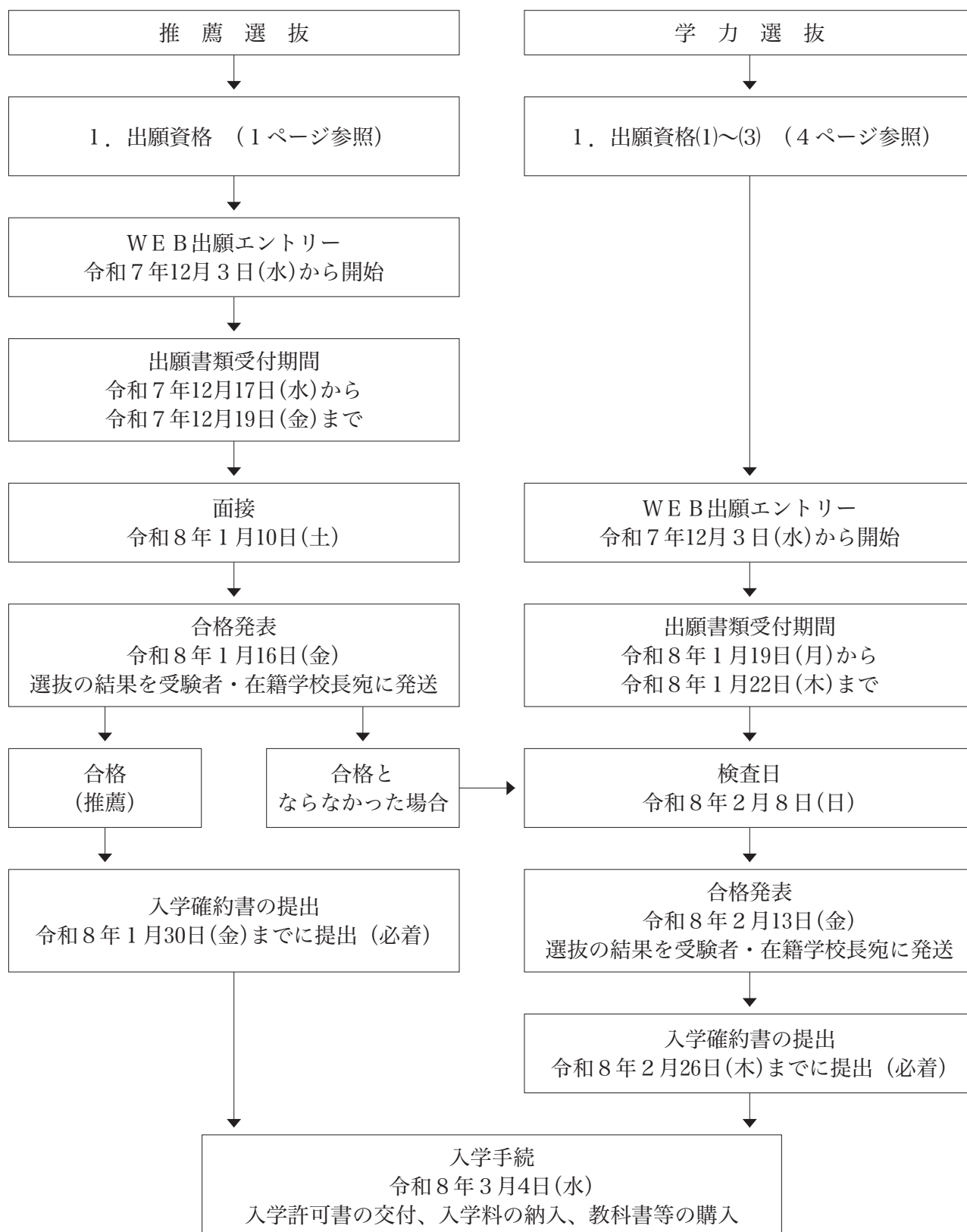
(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後又は入学後に合理的配慮に関して初めて申請なさると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

相談窓口 学生課教務入試係 Tel：0258-34-9434 Fax：0258-34-9339

E-mail：kyoumu@nagaoka-ct.ac.jp

Ⅶ 出願から入学手続きまでの流れ（推薦・学力）



※この出願から入学手続きまでの流れについては、推薦選抜及び学力選抜を対象としたものです。帰国生徒特別選抜については、これによりません。

VIII 技術者教育プログラム

本校では、平成16年4月に、日本技術者教育認定機構（JABEE、Japan Accreditation Board for Engineering Education; <https://jabee.org/>）の基準に対応するための技術者教育プログラム（生産システム・環境工学プログラム）を設定し、認定を受けています。

この教育プログラムは、本校の学科第4、5学年と専攻科第1、2学年の4年間のカリキュラムで構成されており、4つの学年に在籍する全ての学生を対象としています。

生産システム・環境工学プログラムについての詳細は、本校のホームページをご覧ください。
(<https://www.nagaoka-ct.ac.jp/college-info/eep/>)

卒業後に本校の専攻科に進学する学生は、JABEE認定プログラムの修了者としての資格を取得するために、次の3項目の全てを満たすことを目標に学習します。

- ① 本校専攻科の修了
- ② 大学改革支援・学位授与機構からの「学士（工学）」の取得
- ③ JABEE認定プログラムの修了

IX 個人情報の取扱いについて

本校では「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」に基づき、保有している個人情報について以下のとおり適正に取り扱います。

1. 本校で個人情報を保有するに当たっては、法令の定める業務を遂行するための必要な場合に限ります。
2. 本校が個人情報を取得する場合は、本人に対し利用目的を明らかにして取得します。
3. 本校で保有している個人情報は、厳正な管理下で安全に保管します。
4. 本校が保有する個人情報について、法令に基づく場合を除き、利用目的以外の目的のために自らが利用し、また、第三者に提供することはありません。

なお、入学志願者から提出された出願書類に記載されている情報や、WEB出願システムで入力した情報に加え、入学者選抜で用いた学力検査成績・面接評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学科、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

X 令和8年度入学者選抜を受験した者の学力検査成績の開示について

受験者が希望する場合、下記により学力検査成績の開示を行います。

1. 申請者

学力選抜及び帰国生徒特別選抜の受験者本人に限ります（代理人による申請は認めません。）。

2. 開示内容

- (1) 学力検査の科目別得点
- (2) 志望学科におけるランク

(注1) 開示する「志望学科におけるランク」は、合格者は合格学科におけるランク、不合格者は第一志望学科におけるランクが対象となります。

(注2) 推薦選抜は、この制度による開示の対象となりませんので注意してください。

3. 申請期間

令和8年3月4日(水)から4月30日(木)までとします。

(土曜日、日曜日及び祝日を除き、9:00～12:00、13:00～16:00)

4. 申請に必要な書類

(1) 長岡工業高等専門学校学力検査成績開示申請書(学生課に用意してあります。)

(2) 本校受験票

5. 申請方法

開示を請求する受験者本人が来校し、本校の受験票(コピーは不可)を提示し、学生課の窓口で申請してください。

6. 開示の方法

学力検査成績通知書を窓口で手渡します。

7. 開示手数料

開示手数料は無料です。

8. 問合せ先

不明な点などがありましたら、学生課教務入試係(連絡先は、表紙に記載)にお問い合わせください。

XI 調査書作成要領

調査書の記入について

記載事項、記載要領等は、中学校生徒指導要録(以下「指導要録」という。)及び各都道府県が定める「令和8年度公立高等学校入学者選抜要項」に準じますが、次の点に留意して記入してください。

なお、各都道府県が定める「令和8年度公立高等学校入学者選抜要項」により、各学校で作成した調査書が、本校「調査書」の『志願者氏名』等の欄から(＝より下の部分)の各項目を網羅していれば、次のアからイまでのいずれかにより作成してかまいません。

ア 各都道府県が定める「令和8年度公立高等学校入学者選抜要項」により作成した調査書を本校「調査書」に貼付して、本校「調査書」に学校長の職印を押印し、作成したもの

イ 巻末のシールに必要事項を記入し、そのシールを各都道府県が定める「令和8年度公立高等学校入学者選抜要項」により作成した調査書に貼付して、学校長の職印を押印し、作成したもの

1. 「成績一覧表作成の有無」の欄(推薦・学力選抜)

各都道府県が定める「令和8年度公立高等学校入学者選抜要項」による成績一覧表の作成の有無について、該当するものを○で囲んでください。

2. 「一覧表番号」の欄(推薦・学力選抜)

中学校名と上記1.で成績一覧表を作成する場合は、成績一覧表に付された当該生徒の番号を記入してください。成績一覧表を作成しない場合でも、中学校名は必ず記入してください。

3. 「志願者氏名」、「性別」、「生年月日」の欄

志願者本人の氏名、性別、生年月日を記入してください。

4. 「卒業年月」の欄

卒業又は卒業見込みの年月を記入し、該当のものを○で囲んでください。

5. 「各教科の学習の記録」の欄

(1) 令和7年度卒業見込みの生徒

① 「評定」の1、2年の欄には、指導要録の各教科の5段階評定を転記してください。3年の欄には、各都道府県が定める「令和8年度公立高等学校入学者選抜要項」の基準により、調査書作成時までの評定を、絶対評価による5段階評定で記入してください。ただし、不登校や特別支援学級等への在籍により、所定の欄に評定を記入することができない教科がある場合は、該当欄に斜線を引き、☆印欄にその理由を記載してください。なお、その場合、副申書（様式自由）を添付することができます。

② 外国の学校からの編入学等により、履修しなかった教科がある場合には、該当欄に斜線を引き、☆印欄にその理由を記載してください。なお、その場合、副申書（様式自由）を添付することができます。

(2) 令和6年度以前の卒業生

① 各教科の1、2、3年の成績は、指導要録の5段階評定を転記してください。ただし、不登校や特別支援学級等への在籍により所定欄に転記することができない場合には、該当欄に斜線を引き、☆印欄に指導要録の記載事項を転記してください。なお、その場合、副申書（様式自由）を添付することができます。

② 外国の学校からの編入学等により、履修しなかった教科がある場合には、該当欄に斜線を引き、☆印欄にその理由を記載してください。なお、その場合、副申書（様式自由）を添付することができます。

6. 「校長氏名」等

調査書の作成年月日、学校名、校長氏名を記入し、職印を押印してください。

7. 「記載者氏名」の欄

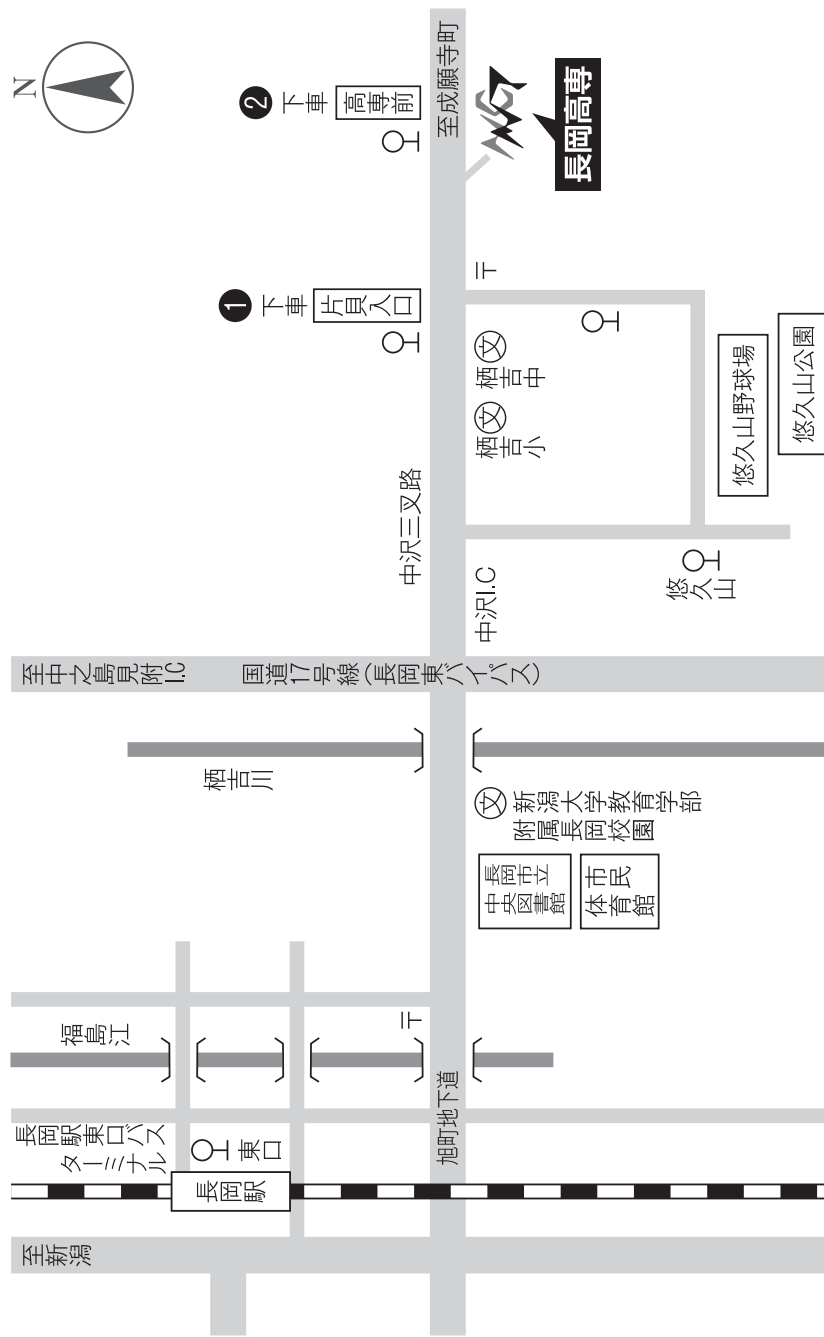
記載者の氏名を記入してください。

※このシールは、中学校等が調査書を作成するために、必要に応じて使用するものです。入学志願者が本校にこのシールを提出する必要はありません。

•

•

長岡工業高等専門学校 位置及び交通案内



☆ 学校所在地

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888番地
TEL (0258) 34-9434 (学生課 教務入試係)

☆ 交通案内

- ① 長岡駅東口バスターミナル 2 番乗場から
「悠久山行 (悠久山公園入口経由)」で「片貝入口」下車《乗車時間 約12分、徒歩 7 分》
通学時 (朝のみ) 「長岡高専」直通バス有
- ② 長岡駅東口バスターミナル 1 番乗場から
「成願寺行」で「高専前」下車《乗車時間 約15分、徒歩 2 分》
- ③ 長岡駅東口からタクシーで約10分